



2014年3月6日

滋賀銀行におけるリスク管理

金融高度化セミナー 事例紹介

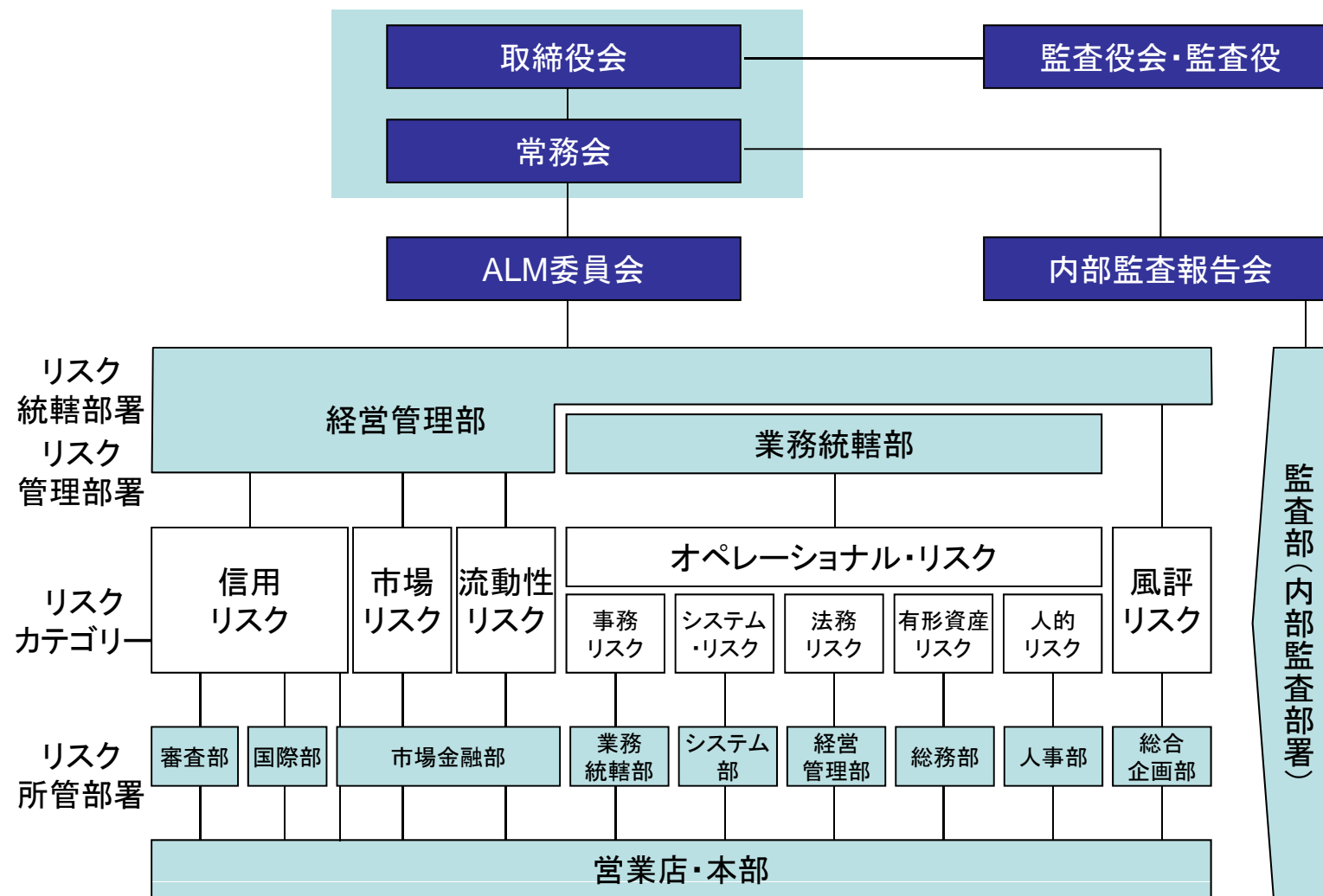
滋賀銀行 経営管理部 下辻 篤

SHIGA BANK

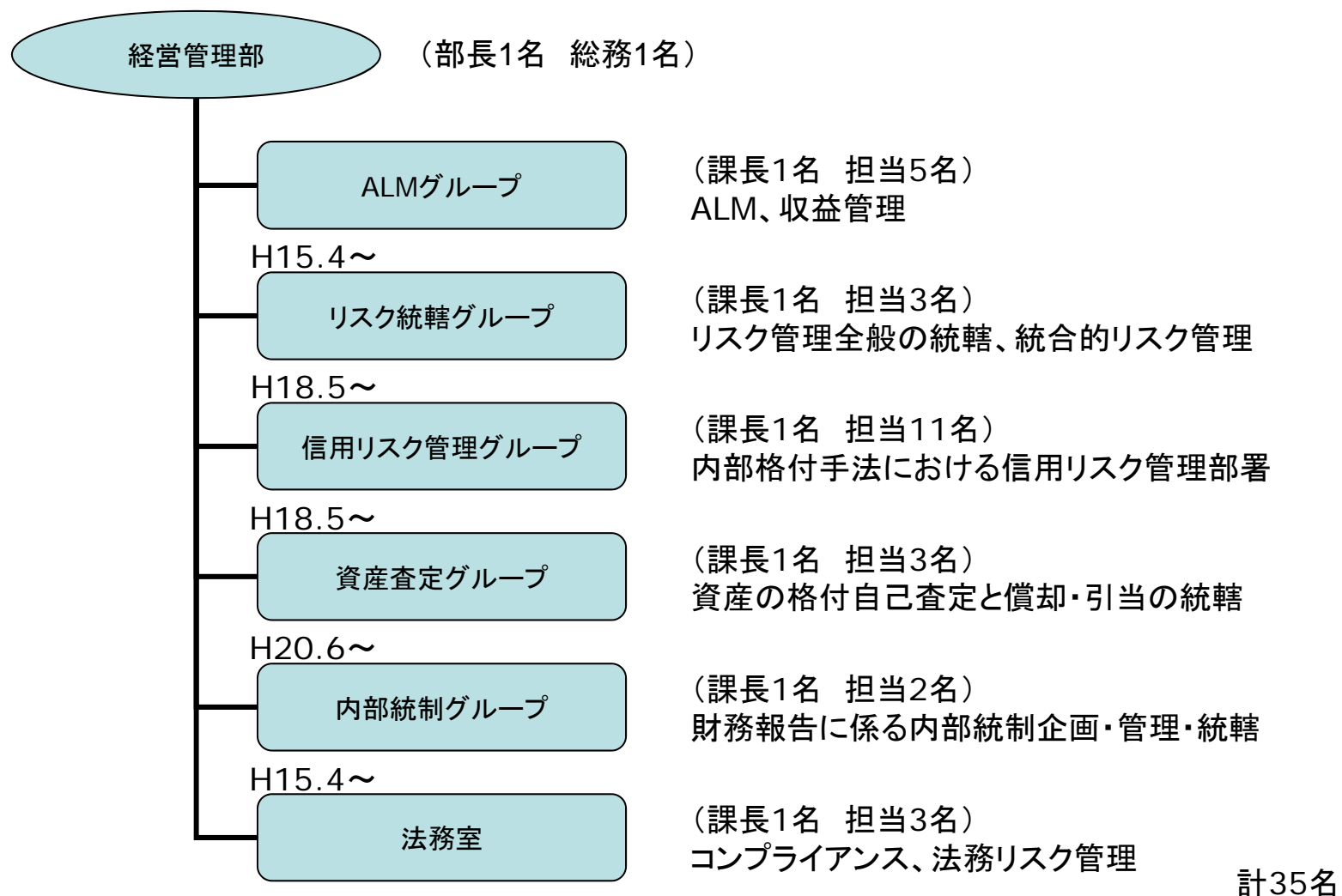
目次

- リスク管理体制
- 経営管理部の組織
- バーゼルⅡ
- PDCAサイクル(ALM委員会運営)
- 資本配賦の仕組み
- ERM 10の要件
- リスク選好、戦略、目的の設定と整合性
- 計画(戦略)、リスク選好・管理方針
- PDCAサイクル(ALM委員会運営)＋長計
- 現在実施しているストレス・テスト
- ストレス・テストのプロセス
- リバース・ストレス・テスト
- ストレス・シナリオの策定
- グローバル・ベースでのリスク分析
- 日本経済のリスク分析
- 取引先への影響とシナリオの策定
- ストレス・テストの融合
- 最後に:リスク管理の高度化とその効果(イメージ)

リスク管理体制



経営管理部の組織



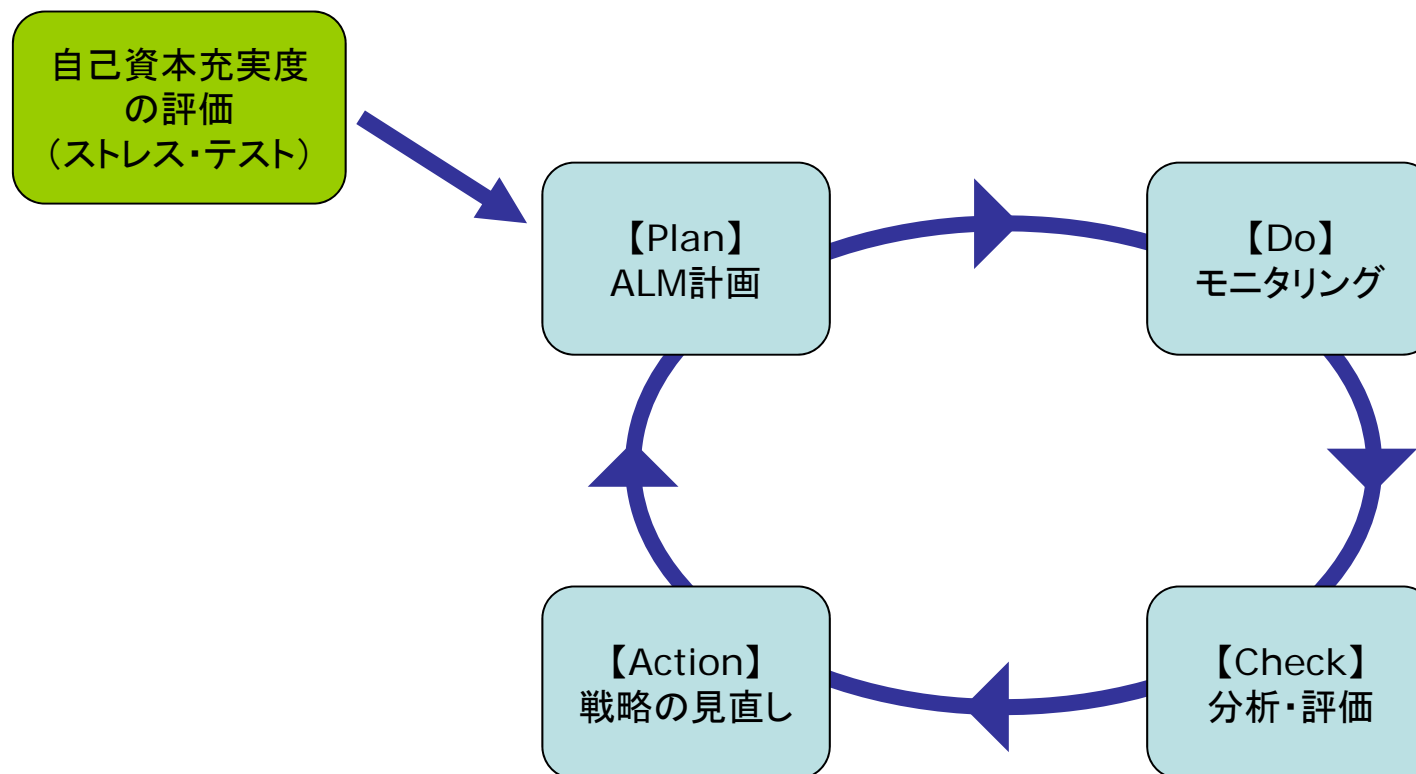
- 第二の柱

- 原則1： 銀行は、自行のリスク・プロファイルに照らした全体的な自己資本充実度を評価するプロセスと、自己資本水準の維持のための戦略を有するべきである。

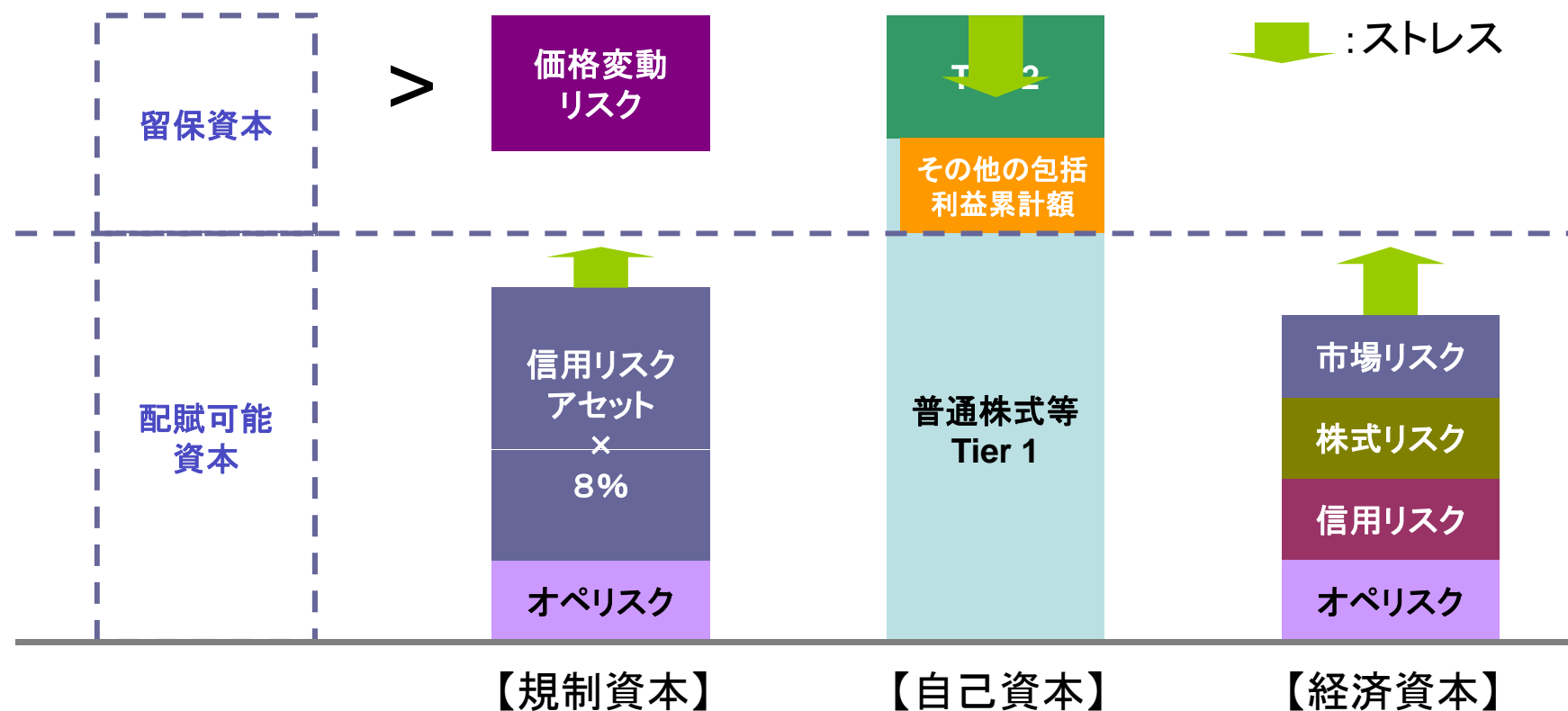
- 自己資本比率告示 第199条

- 内部格付手法採用行は、所要自己資本の額の充実度を評価するために適切なストレス・テストを実施しなければならない。
- 前項に掲げるストレス・テストは、経済状況の悪化及び流動性の悪化その他の内部格付手法採用行の信用リスクに係るエクスポージャーに好ましくない効果を与える事態の発生又は経済状況の将来変化を識別するものであって、かつ、こうした好ましくない変化に対する内部格付手法採用行の対応能力の評価を含むものでなければならない。

PDCAサイクル(ALM委員会運営)



資本配賦の仕組み

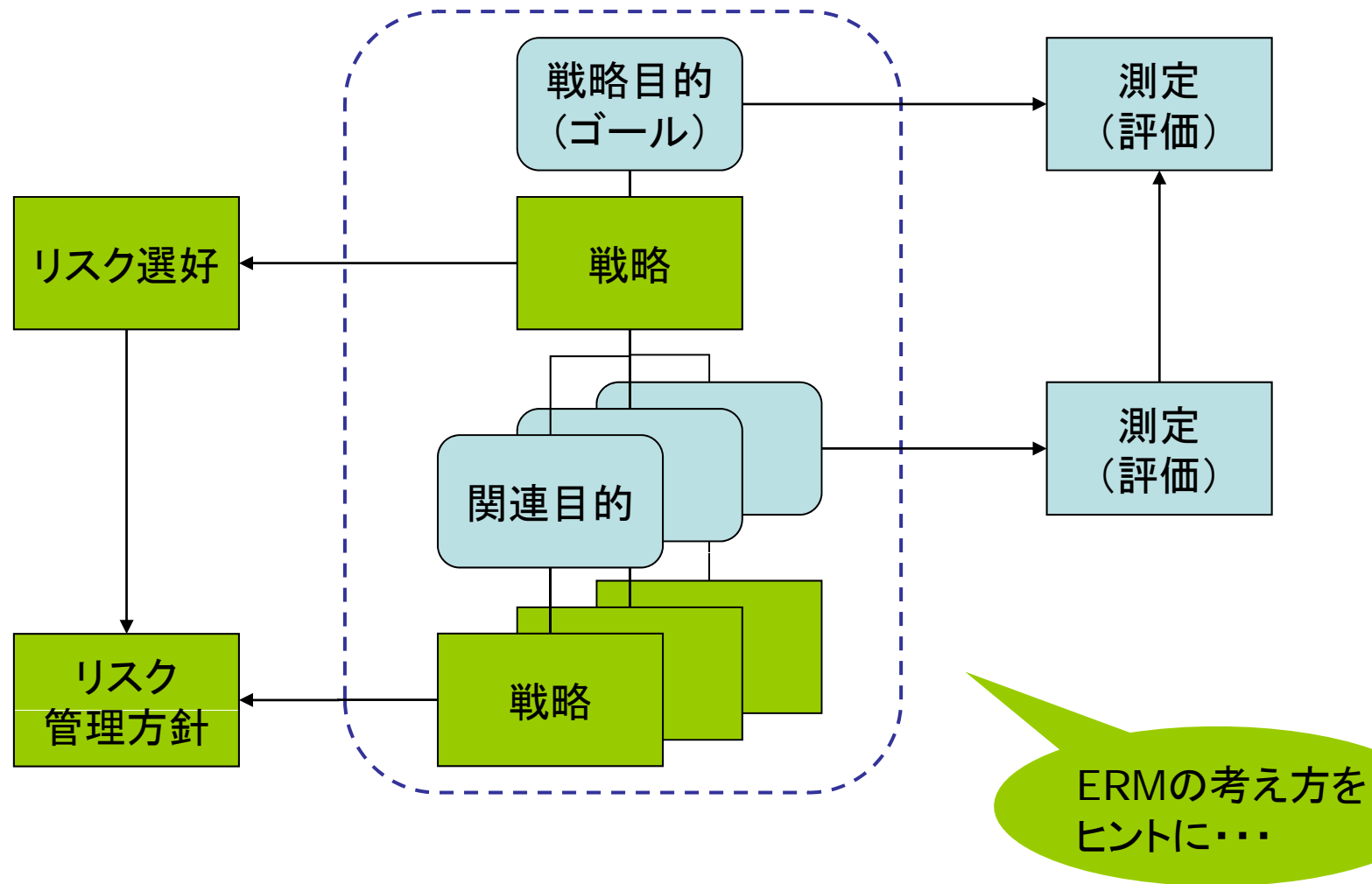


ERM 10の要件

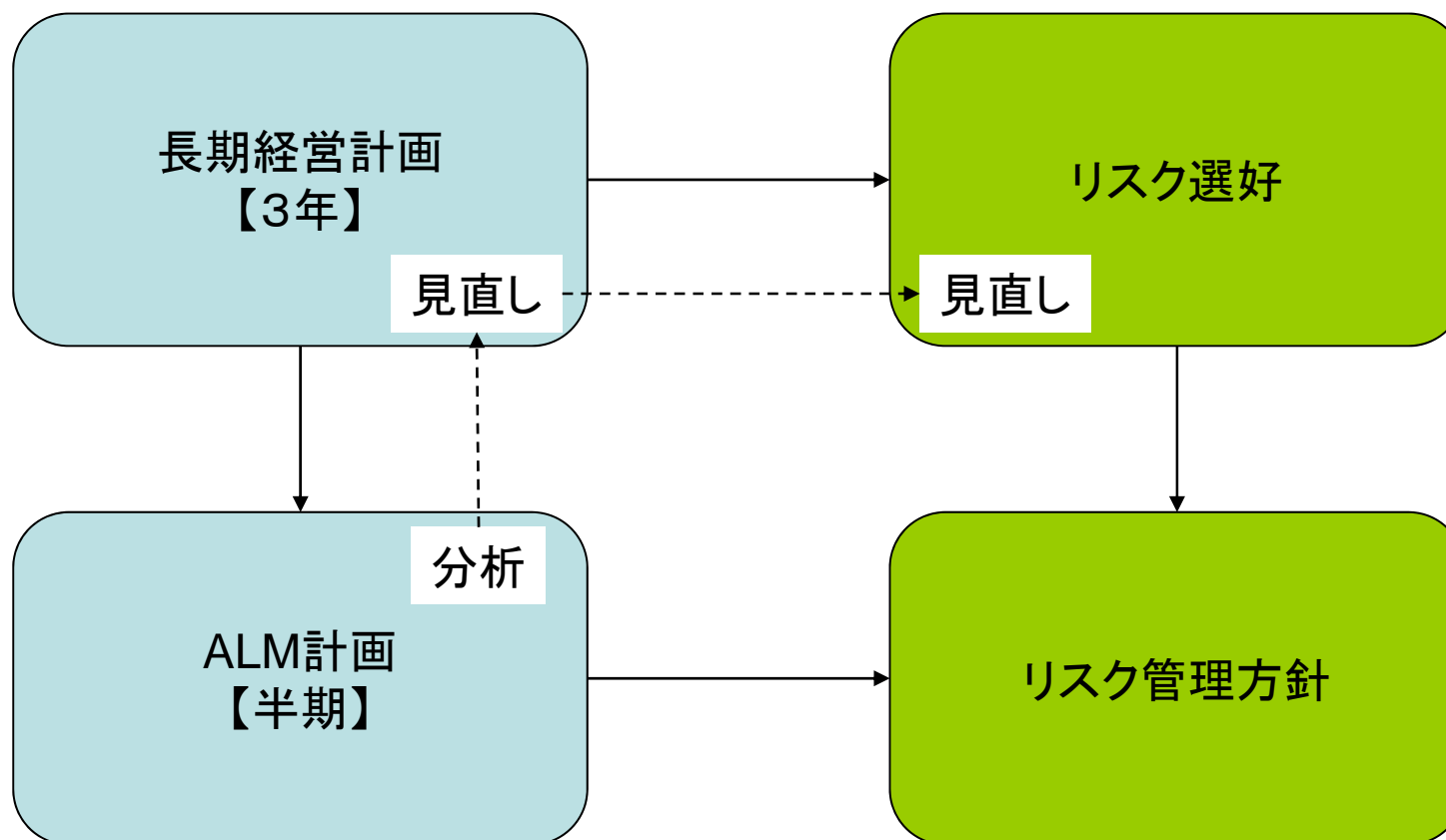
1. リスク選好、戦略、目的の設定と整合性
2. 経営レベルでの重要リスクを特定
3. リスクをトータルに把握・管理
4. 企業集団全体を対象
5. PDCAが回っている
6. 経営トップとのつながりが深い
7. 通常業務への組み込み
8. 経営活動や経営管理との連動（統合）
9. リスクに対する認識や管理手法が全社で共通
10. リスク情報が適切なレベルに報告される仕組み

※日本内部監査協会「ERM実施体制を構築するために必要な10の要件」2007.4

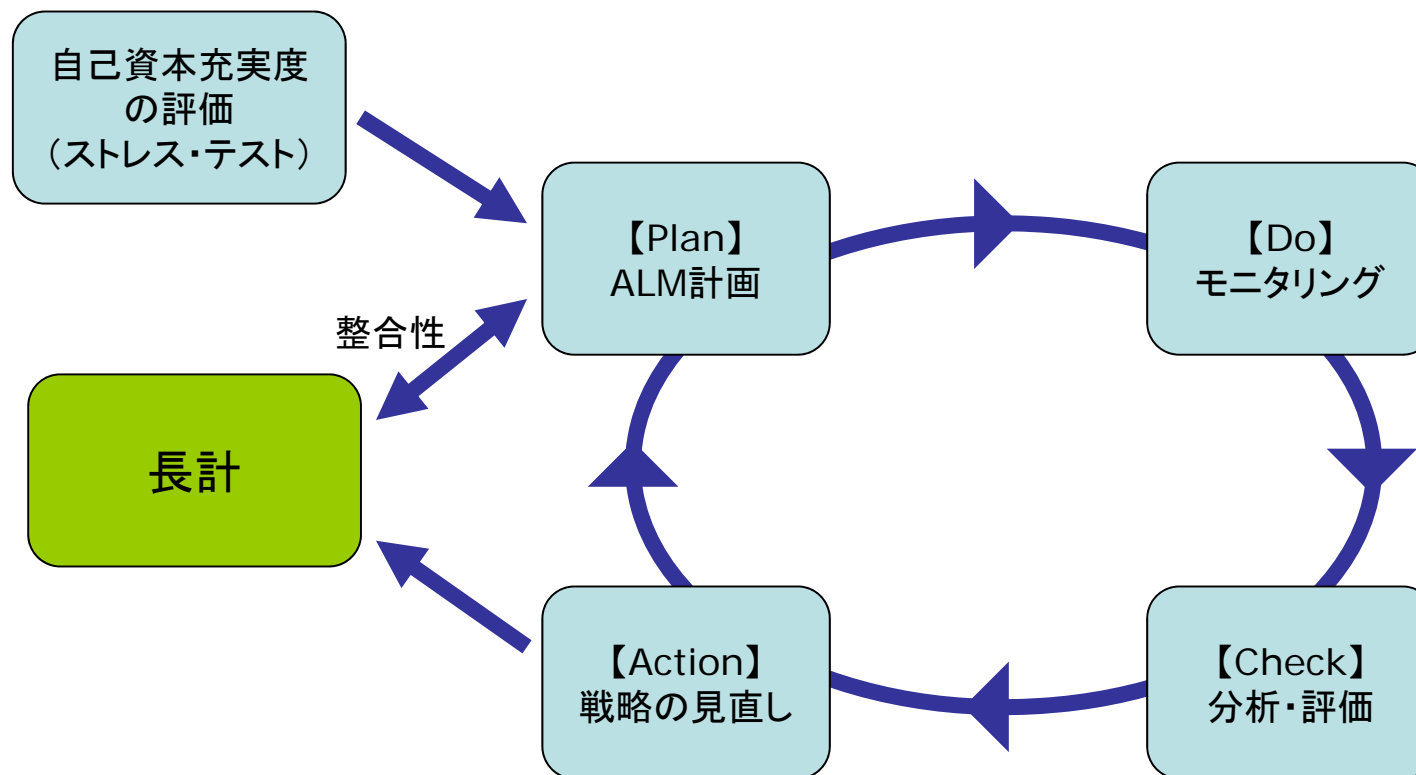
リスク選好、戦略、目的の設定と整合性



計画(戦略)、リスク選好・管理方針



PDCAサイクル(ALM委員会運営)＋長計



現在実施しているストレス・テスト

- ALM収益シミュレーション
 - シミュレーション対象が資金利益から当期利益・自己資本比率へ拡充、ALMグループ担当
 - リスク・ケース(=蓋然性の高いストレス・シナリオ?)
- 自己資本充実度の評価
 - 告示199条対応、リスク統轄グループ担当
- 信用リスクのストレス・テスト
 - 告示200条対応、信用リスク管理グループ担当
- 市場リスクのストレス・テスト

ストレス・テストのプロセス

① ストレス・シナリオ

② マクロ指標

③ パラメータ

ヒストリカル・シナリオにて代用
(リバース・ストレス・テストにて補完)

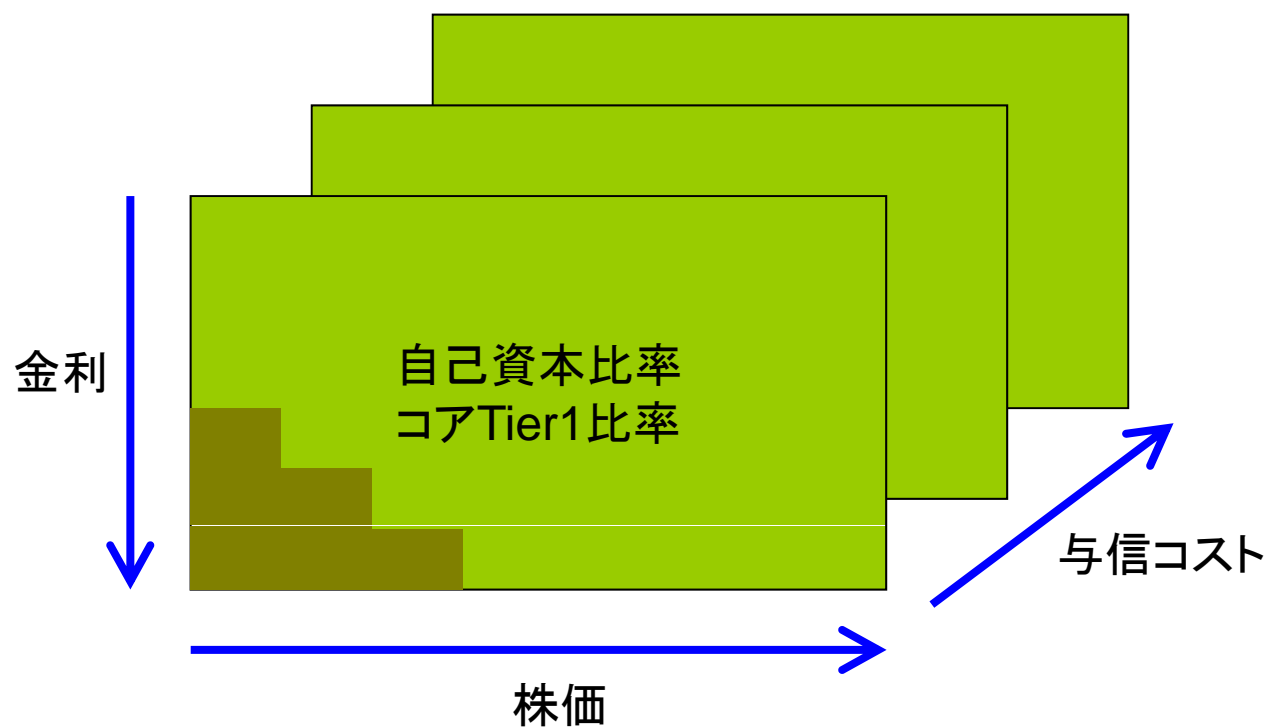
④ テスト結果・報告

⑤ アクション

重視(シナリオに納得性が必要)

リバーズ・ストレス・テスト

- リスクについて経営との議論が重要
- 当行のポートフォリオは比較的単純
- 過去に被った大きな損失は想定外だった



- 金融危機時においてVaRは役に立たなかった？
 - VaRを超える損失が発生したか？
 - 高度化 = リスクの過小見積り？
- マクロ・ストレス・テスト
 - どのように活用するのか？
 - 実施する主体はリスク管理部門or企画部門？

ストレス・テストのプロセス(再掲)

- ① ストレス・シナリオ
- ② マクロ指標
- ③ パラメータ
- ④ テスト結果・報告
- ⑤ アクション

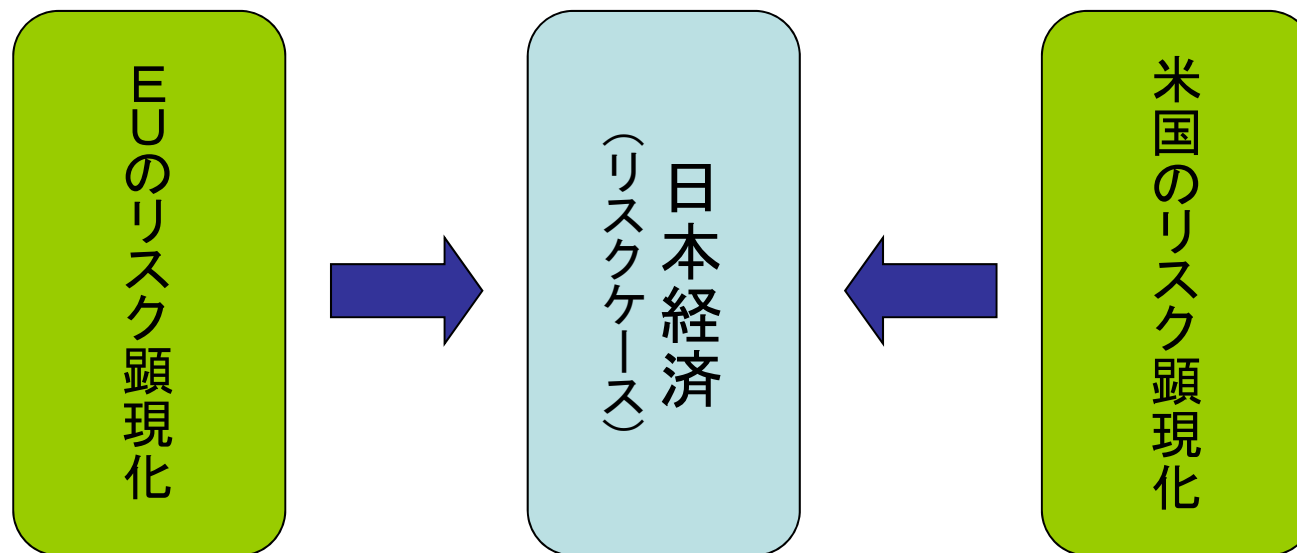
リスク・コミュニケーション
には①も重要？

- グローバル・ベースでのリスク分析
 - 日本経済のリスク分析
 - 取引先企業への影響度分析
- ⇒ ストレス・シナリオ策定

グローバル・ベースでのリスク分析

	EU	中国	日本	米国
リスク 状況				
リスク 事象				
影響				
発生 可能性				

日本経済のリスク分析



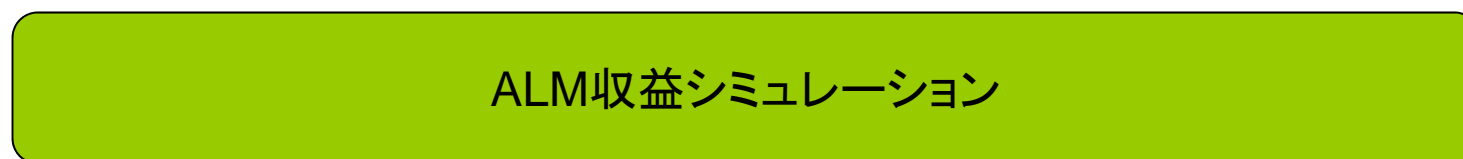
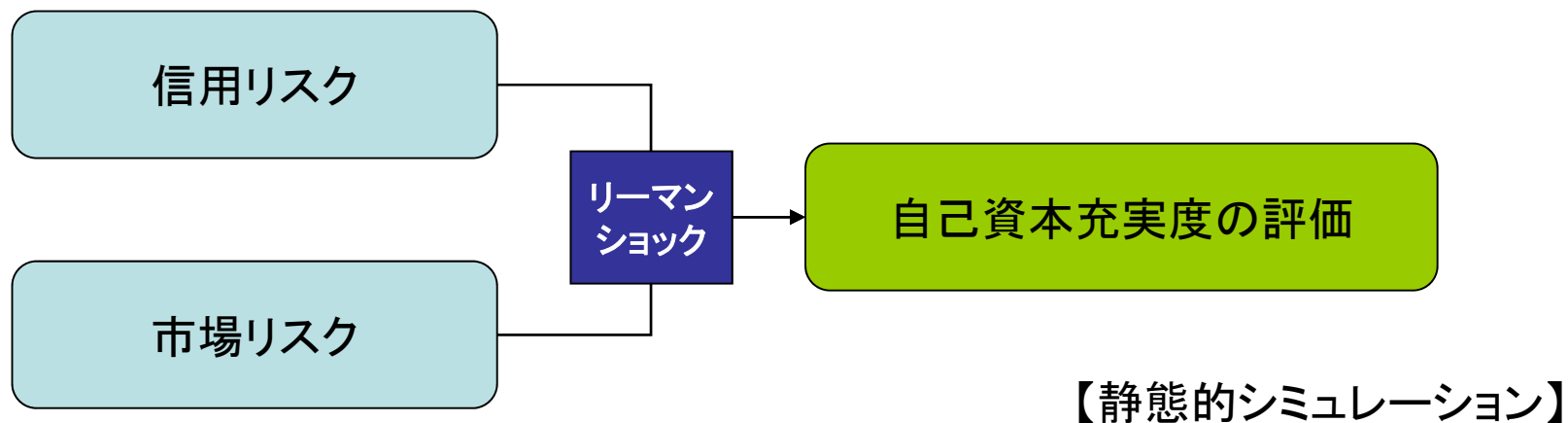
EUや米国におけるリスクの顕現化は
日本経済の抱える問題を加速すると仮定

取引先への影響とシナリオの策定

	リスク事象	メインケース	リスクケース1	リスクケース2
大企業	製造業種の業績悪化	業績予想に基づく格付予想		
中堅・中小	下請企業の取引条件悪化	【売上高減少】 電気・精密▲10% 金属・機械▲5%		
住宅ローン	長期金利上昇・雇用環境悪化による延滞・デフォルトの増加	【デフォルト率】 〇〇倍		

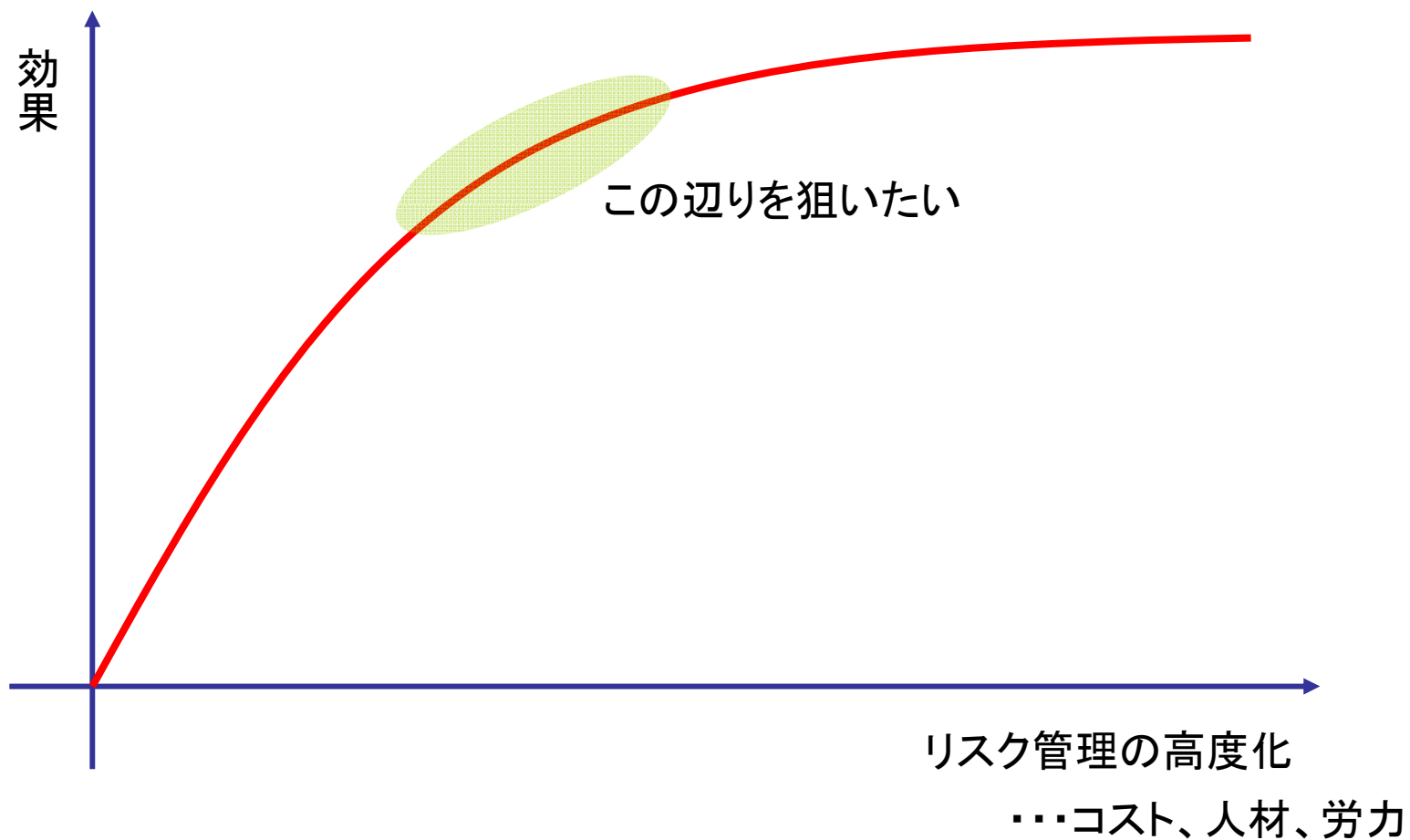
※事業性全般として金融円滑化の影響を加味

ストレス・テストの融合



【動態的シミュレーション】

最後に： リスク管理の高度化とその効果（イメージ）





2014年3月6日

滋賀銀行におけるリスク管理

金融高度化セミナー 事例紹介

滋賀銀行 経営管理部 下辻 篤

SHIGA BANK